

賀正 二〇〇一年 巳

年頭にあたって

〇 日本造園建設業協会

会長 成家 次男



新世紀あけましておめでとーごいませす。激動の20世紀が終わり、21世紀幕開けの年、会員各位のご健勝と実り年となります。よつこから祈念いたします。

2001年1月には変革を象徴する中央省庁再編が実施され、本年は本格的な変革元年と位置づけることができます。これらの構造改革は、当然わが国における社会資本整備のあり方にも変化を与えつつあります。従来型に比べ、環境や福祉関係への比重が大きくなると考えられることは周知のとおりです。しかし、ビジネスチャンスが訪れても変革に適切な対応をし、時代の要請に応えられなければ、仕事に結びつけることはできません。当協会では、みどりのゼロエミッションや「ヒートアップ」への取り組みなどを進めておりますが、従来の技術や専門知識だけでは解決できない、このような新しい取り組みが求められているのが良い例です。さらに、業の専門とする技術のみならず、IT技術等を活用したネットワークの良

い、機敏な対応が必要な時代でもあります。一方では地方分権が叫ばれ、地域のニーズに的確に応えることも求められつつあります。すなわちエンドユーザーである市民の立場に立ち、ますます多様化する要求に対応できる体制を整え、さらに一歩進めればPFI事業まで視野に入れた、新規業務の開拓も重要となるでしょう。また、環境の世紀ともいわれますが、環境問題は良好な環境の創出・破壊された環境の修復・良好な環境の保全の3つが大きな柱であると考えています。

当協会では、こうした時代が求める多様化したニーズに答えるため、皆で「知恵」を出し助け合い、またある時は切磋琢磨し、技術の向上と経営の合理化に努め、社会的な責務を果たしながら魅力ある業界に育て、優秀な人材を育成します。良く「組織は人」と言われます。これらの重点課題の解決には造園技能者を始めとした会員企業社員の資質の向上に努め、教育・研修も一層充実させていく所存です。変革はまだ序曲が始まったばかりです。これから本格化する変革の時代を見据え、当協会ではこれまで以上に業務開拓、技術・技能の向上などに取り組んでまいります。関係各位におかれましては本年も何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



大沢の地鎮杉 (おおさわ じちんすぎ) 富山県指定天然記念物 (昭和40年1月1日指定) 所在地 富山県魚津市大沢字前田632番、樹種: スギ (立山杉) 樹高: 約40m、幹周: 約10m 富山県魚津市布施川左岸の河岸段丘上にある数少ない天然の巨大な立山スギであり、地際の幹廻り約12m、目通り幹廻り約10m、樹高約40mに達し地際で太い第一枝が分かれ、さらにわずか2mあまりの間で9本に分かれるという立山杉の代表的特徴を示し、樹齢は数百年に達すると考えられている。市内では、早月川や片貝川の上流でこれに類した立山杉の巨木がみられるが、標高約160mの農村部にあるのは非常に珍しい。なお、ここから700m離れた黒沢地区にも大きな立山杉があり、この一帯が農地として開墾されるまでは、こうした立山杉が繁茂していたものと考えられる。地鎮杉の名の由来は、平家の末裔である大沢氏がこの地に逃避して一帯を開拓し、この杉を鎮守として祀ったことによるといわれ、今も地元では「地鎮様」と呼んで尊守している。なお、特別天然記念物の魚津埋没林の埋没前の姿はこの地鎮杉に類するものであると推定されている。